さがしてみよう！ キャラクターたちが本のうしろにかくれているよ。わかるかな？

みつかるかな？ ワクワク ドキドキ

ー家庭読書の日 ブックリストー

3・4年生向け



『クッキー投票！』

M.マクナマラ&D.バーンストロム／文
G.ブライアン・カラス／絵
椎名かおる／訳
あすなろ書房

ティファン先生のクラスでは、州議事堂の見学に行く前に「自分たちの住む街をよりよい町にするにはどうすればいいのか」を図書館で調べ、よいアイデアを法案として提出することになりました。みんな色々な考えを挙げていきますが、まとまるのでしょうか……。アイデアを出し合い、どれがいいか話し合って、最後にみんなで選ぶ。「投票」について楽しく学べる絵本です。

この本がある図書館：水 土 賀 南 信



『みんなのためいき図鑑』

村上しいこ／作　中田いくみ／絵
童心社

授業参観に向けて「ためいき図鑑」を作ることになった小学四年生の“たのちん”達。班での話し合いは、意見がぶつかり思うように進みません。そんなある日、ノートに描いた「ためいきこぞう」が飛び出してきて……。ためいきにも、いろいろな気持ちが隠れていることに気づかされます。自分の「ためいきこぞう」がどんな姿や性格なのか、想像しながら読むのも楽しいかもしれませんね。

この本がある図書館：水 土 賀 南 信

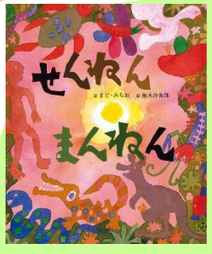


『動かすのが楽しくなる手のひみつ』

今泉忠明／監修
根橋明日美／文　植木美江／絵
創元社

朝起きてからあなたは何回手を使いましたか。コップを持ったり本をめくったり、私たちの手はとても働きもの。人間の手の不思議な仕組みや進化の歴史だけでなく、犬の肉球や恐竜の短い腕などいろいろな動物の手も紹介されています。読むと自分の手をじっくりとながめたくなる1冊。同じシリーズで「鼻」「耳」「皮膚」などのひみつもあります。

この本がある図書館：土 賀 南 信



『せんねんまんねん』

まどみちお／詩
柚木沙弥郎／絵
理論社

詩の絵本です。有名な歌「ぞうさん」の歌詞を作った、まど・みちおさんが詩を書き、絵は柚木沙弥郎さんが描きました。ヤシの実が木からおちました。そのじひびきでとびでたものは…？そのあと、のんだりのまれたりしながら、せんねんまんねんのいとなみが、くり広げられていきます。その中に、自分も入りこんでいくような気分を、あじわってみませんか。

この本がある図書館：土 南



『ぼくがぼくに変身する方法』

やませたかゆき／作　はせがわはっち／絵
岩崎書店

四年生のタクミは、憧れのヒーロー「サンダー仮面」の変身ベルトを手に入れたが、クラスのボスにバカにされ、ベルトを乱暴にあつかわれてしまう。ボスをやっつけたい、そう願ったタクミが変身ポーズをとると、なんとサンダー仮面に変身してしまった！
本当は好きだけど、周りを気にして隠しているものはありませんか？自分の「好き」を大切にしたい気持ちを応援してくれる物語です。

この本がある図書館：水 土 賀 信



『ひみつたんていダイアリー1』

ヨアヒム・フリードリヒ／作
はたこうしろう／絵
はたさわゆうこ／訳
徳間書店

かいぞくが大すきな小4の女の子フローが転校してきたのは、古い城を校舎にしたお城学校。騎士の鎧や古い絵などがある校内を、ものしりのレオと力もちのサムソンの2人の男の子と探検していると、真っ暗な部屋を見つける。その中にいたのは「ひみつたんてい」のおじいさんだった！ドイツ発の〈子ども探偵団シリーズ〉の1巻め。ヨーロッパの子どもの気分になれるかも！？

この本がある図書館：賀



『モノのかたち事典』

クイズ法人カプリティオ／文
大崎メグミ／絵
ポプラ社

「ドーナツの穴はなんのため？」「誕生日ケーキが丸いわけは？」モノのかたちにはちゃんと理由があるんです。言われてみれば気になる“かたち”がたくさんしょうかいされています。たのしく読めて、あたらしい発見にであえる一冊です。思わず「へぇ～」と言ってしまいますよ！シリーズに「モノのなまえ事典」などがありこちらも人気です。

この本がある図書館：水 土 南 信



『にっぽん中のスゴイ！が見つかる絵さがし都道府県』

寺本潔／監修
ポプラ社

地域別に全3巻からなる本で、47都道府県の特色を絵さがしクイズにして紹介されています。それぞれの魅力を、自分の目で楽しみながら発見することができます。写真も解説もたくさんのっていて、学習にもぴったり。絵さがしを楽しみながら、にっぽん中の「スゴイ」をみつけてみよう！

この本がある図書館：土 賀 南



『おしりをふく話』

斎藤たま／文　なかのひろたか／絵
福音館書店

今は、どこの家でも学校でも、トイレにはたいていトイレットペーパーがおいてあります。でも、昔からそうだったわけではありません。ではどのようにしておしりをふいていたと思いますか？昔は古新聞や古いしょうじ紙でした。ではそのもっと前は……そう葉っぱ！おしりをふくなら、どんな葉っぱがいいでしょうか。

この本がある図書館：水 土 賀 南 信



『ある星の汽車』

森洋子／作
福音館書店

広い大地を走る汽車に、さまざまな鳥や動物が乗っているが、車掌さんに声をかけられた乗客たちが次々と降りていき……。人間の子どもが「いつまで乗っていられるの？」と大人に聞き、ホッキョクグマが「そろそろおりなきゃ」とつぶやく。みんなが下車せずにすむ世界でありたいな。

この本がある図書館：水 土 賀 南 信



『ひと粒のチョコレートに』

佐藤清隆／文　junaida／絵
福音館書店

ひと粒口に入れると、とろけるおいしさが口いっぱいに広がるチョコレート。なめらかなくちどけは長い歴史と努力の結晶です。材料のカカオに人類が出会ってから、現在の姿になるまで一万年以上という気の遠くなるような時間がかかりました。チョコレートに込められたひみつと工夫を知れば、もっとおいしく感じるかもしれませんね。

この本がある図書館：水 土 賀 南



『親子で楽しむこどもペット塾』

勝俣和悦／著
明治書院

生き物を飼うということは、楽しいことだけではなく、大変なことも沢山あって、「生き物が好き」という気持ちだけではつとまりません。この本では、色々な生き物のお世話の仕方とともに、ペットの気持ちや一緒にいられる限られた時間についても書かれています。小さな命の事を知り、生き物と一緒に生きる生活について考えてみましょう。

この本がある図書館：水 南 信

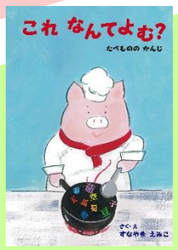


『山に登る』

星野秀樹／写真・文
アリス館

「いったいなぜ、山に登るの？」深い森を抜け、お花畑、池や草原を通って山を越える。テントをはり、ごはんを食べ、満天の星をながめて休む。時にはあれくるう吹雪の中、頂上をめざす。一緒に山を登っているかのようなワクワク、ハラハラ感が伝わってきます。山の空気を感じ、山に登りたくなる一冊！なぜ？の答えはこの本の中に。

この本がある図書館：土 賀 南 信



『これなんてよむ？たべもののかんじ』

すなやまえみこ／さく・え
ポトス出版

「玉蜀黍」ってなんて読むと思いますか？答えは「とうもろこし」。とうもろこしはそのまま食べるだけではなく、油にもなって色々な機械を動かしたりもするんだって。漢字が読めなくても絵がヒントになっているからむずかしい漢字も読めちゃう！漢字が好きな人も苦手な人も楽しみながら読める本です。

この本がある図書館：水 土 信

このリストは、甲賀市の学校司書と図書館司書が一緒に作りました。